令和７年４月９日

（一財）四国産業・技術振興センター（STEP）

事業化を目指す企業の技術開発・製品開発に支援を行います！

ＳＴＥＰは、四国地域イノベーション創出協議会と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベーティブな取り組みに対する支援を行っております。

事業化を目指す四国の中小企業等の技術開発・製品開発について支援対象事業の公募を行い、厳正な審査の結果、令和７年度は次の４件を支援先として決定しました。助成金額は１００万円／件です。

「事業化案件研究調査事業」採択企業一覧

企業名	所在地	研究テーマ名	共同研究企業等
井上石灰工業株式会社	高知県南国市	高機能性酸化カルシウムの製造方法確立および用途開発に関する研究調査	無
株式会社 中温	愛媛県松山市	高圧処理を使用した加工食品の開発	国立大学法人愛媛大学
大和酸素工業株式会社	愛媛県東温市	稚ウニ餌料としての付着性微小藻類の培養条件の研究	無
株式会社ハマダフードシステム	香川県高松市	犬 ・猫などの健康に配慮、した、こんにゃく （マンナンミノレク）を原料とする低カロリー機能性ペットフード開発に向けたエビデンス取得事業	ハイスキー食品工業 国立大学法人香川大学

各研究テーマの要約についは別紙を参照ください。

（参考）「事業化案件研究調査事業」の概要

1. 支援対象	四国内に本社または事業所を持つ中小企業等
2. 対象事業	企業が事業化に向けて取り組み中または検討中の技術開発・製品開発のうち、単独または他の企業等と共同で行う事業とします
3. 支援対象経費	当該事業の実施に直接必要な経費
4. 研究期間	令和７年４月～令和８年２月
5. 実績報告	事業完了後、実績報告書を当センターに提出していただきます

＊四国地域イノベーション創出協議会

四国内の研究機関や産業支援機関などの協議会会員機関が、企業が抱える課題の解決を四国の総合力で支援する組織。会員機関が、その保有する人材、ネットワーク、機器等の資源を活用し総合的な企業支援を行っている。運営に当たっては、当センターが事務局、産業技術総合研究所と中小企業基盤整備機構が副事務局を務め、四国経済産業局が連携パートナーとして参画している。

この事業は競輪の補助を受けて
実施します

○ お問い合わせ先

〈 広報担当 〉 一般財団法人　四国産業・技術振興センター（ＳＴＥＰ）
総務企画部　渡　E-mail：watari@tri-step.or.jp
馬場　E-mail：baba@tri-step.or.jp
〒760-0033　高松市丸の内２番５号
TEL：087-851-7083　FAX：087-851-7027
URL：http://www.tri-step.or.jp

別　紙

企業名	共同研究機関	研究開発テーマ、要約
井上石灰工業株式会社	無	電子部品の小型化・高性能化やフィルムの高機能化に伴い、ナノレベルで制御された機能性材料の需要が高まっている。当社では独自技術により、ナノスケールで構造制御された高機能性酸化カルシウムの開発に成功したが、工業化に向けては製造技術の確立が課題となっている。本研究では、この新規材料の製造方法確立を目指し、半導体封止材やフィルム分野での実用化に向けた研究調査に取り組む。
株式会社 中温	国立大学法人愛媛大学	食品の高圧処理は、非加熱と反応促進の優位性を活かし殺菌をはじめ様々な機能が注目される。そこで高圧処理技術を用い、「端材野菜」が持つ栄養やうまみ成分等を肉に浸透させ、同時に「肉」にも短時間で熟成効果を期待した商品開発を行う。本研究により、市場ニーズの高い調理済み食品、HPP 技術を初適用し、最適な高圧処理条件の探索、試作品に対する安全、物性、官能などの評価を行う。
大和酸素工業株式会社	無	近年、日本でのウニ類の漁獲量は減少傾向にあるが、国内・海外でのニーズは増加している。したがって、放流や養殖によってウニの漁獲・生産量を増やすことはビジネスとしてかなり有望である。しかし現状では、放流や養殖に必要な稚ウニの供給が十分ではない。そこで、稚ウニを飼育するために不可欠な餌料藻類の培養条件を明らかにし、稚ウニを効率的かつ安定的に供給できるようにしてウニ漁やその養殖事業の活性化を図る。
株式会社ハマダフードシステム	ハイスキー食品工業 国立大学法人香川大学	日本の伝統食品こんにゃくの特性を生かし、犬 ・猫などの健康維持に寄与するペッ トフード用機能性原料を開発します。ペッ トの生活習慣病抑制のエピデンスづくりと共に、従来ペットフード原料に使われなかったこんにゃくに新たな可能性を求めます。当社と長年協力関係にあるハイスキー食品工業附と共に研究調査を行い、香川大学農学部応用生物科学科杉山康憲准教授に協力頂き科学的な検証を重ね、安全で、効果的な製品を開発します。